

加賀市 行政事務における生成AI・ChatGPT活用

プライバシー影響評価 報告書

令和5年5月31日

加賀市 イノベーション推進部



1-1. PIAの文書構成

本書は、加賀市の行政事務における生成AI・ChatGPT活用のプライバシー影響評価（以降、PIA）について報告するものです。

■文書構成

本業務におけるPIAの文書には、PIA報告書、PIA実施書があります。

| 文書 | 内容 | 公開 |
|--------|--------------------------------------|----|
| PIA報告書 | 業務概要、PIA実施の概要について報告するもの（本書） | 公開 |
| PIA実施書 | 業務、プライバシー影響の評価内容について記載するもの（報告書 補足資料） | 公開 |

1-2. PIAとは

■プライバシー影響評価（PIA：Privacy Impact Assessment）とは

プライバシー情報を取り扱う事業等において、潜在的なプライバシーへの影響をアセスメントする手段であり、事業を始める前に、プライバシーリスク、プライバシー保護や情報セキュリティに関する対策などについて“評価”を行い、リスクの回避や低減を行うものです。

※本報告書の対象となる市の行政事務におけるChatGPT活用では、個人情報やプライバシー情報を扱いませんが、これまで使用してこなかった新たなテクノロジーを利用することに対し、市民の理解を得るために、PIAを実施しました。

2-1. 事業目的

■事業目的

本市では、先端技術の社会実装やデータを広く活用することによって、市民生活の質の向上や経済の発展を図る、デジタルトランスフォーメーション（以降、DX）を推進しております。市の行政事務・サービスにおいても、デジタル技術を活用することで、業務の効率化や住民サービスの向上など、様々なメリットが生まれます。

また、近年、生成AI（人工知能）のChatGPTが急速に普及しており、自治体においてもChatGPTの活用事例が報告されております。本市においても、ChatGPTを活用することで、DX推進を加速させていきます。

< ChatGPTとは >

ChatGPTとは、自然言語処理技術の一つで、人工知能を用いて自然な会話を行うことができるシステムのことです。

- GPT（Generative Pre-trained Transformer）と呼ばれる技術を用いて、大量のテキストデータ（ウェブ上の文章や書籍、ニュース記事、SNSの投稿など）を学習し、そのデータから自然な文章を生成できる。
- 人間との会話を通じて情報を収集し、問題を解決することができる（例えば、スマートフォンの音声アシスタントや、ネット上のチャットボットなど）。
- ChatGPT（GPT3.5）は2022年11月に公開された。今後、ますます高度化し、より高度な機能を持つようになることが期待されている。

2-2. 実施理由

■実施理由

自治体の行政事務・サービスにChatGPTを活用することにより、業務の効率化、住民サービスの向上など、様々な効果が期待できます。

加賀市においても、これらの効果を楽しむため、行政事務においてChatGPTを導入し、業務効率化を図るとともに、今後、活用できる領域を評価・検討していきます。

<対象業務>

ChatGPTは、以下のような公開情報を扱う行政事務で活用します。

- 情報収集（業務上のインターネット検索同様）、情報分析
- 文書作成の支援（仕様書(フレーム)の作成など)
- 政策提案のサポート（アイデア出しなど)

2-3. 利用ルール、利用条件

■利用ルール

ChatGPT利用における、利用ルールのポイントは以下になります。

- ChatGPTには機密情報、個人情報、プライバシー情報は入力しないこと。
- ChatGPTから個人情報、プライバシー情報を取得しないこと。
- ChatGPTの結果（回答）は正確な情報ではない場合があることを認識し、また結果（回答）の理由や根拠を精査したうえで利用すること。
- ChatGPTの利用の際に入力した情報をChatGPTに学習データとして使用させない（蓄積させない）設定としておくこと。

3. PIA実施概要 ポイント

PIAを実施し、その結果のポイントは以下になります。詳細は「PIA実施書」を参照下さい。

- ① 法令ポリシー：ChatGPT利用ルールを策定
- ② データ集約：ChatGPTに収集される市のデータはない
- ③ データ利用：市の公開情報を扱う（機密情報や個人情報を扱わない）行政事務で利用
- ④ データ保存：ChatGPTに保存される市のデータはない
- ⑤ データ削除：同上
- ⑥ リスクと対策：機密情報、個人情報、プライバシー情報を扱わない
- ⑦ 監査：情報セキュリティマネジメントの仕組みにより定期的に内部監査を実施

4. Q&A

ChatGPTに関するQ&Aを記載します。

| No | 分類 | Q. 質問 | A. 回答 |
|----|------|-------------------------|--|
| 1 | 一般 | ChatGPTとは何ですか？ | ChatGPTは、OpenAI社が提供する生成AIです。人工知能によるチャットボットで自然言語処理技術を使用して、人間のように会話することができます。人間との会話を通じて、質問に答えたり、情報を提供したり、アドバイスを与えたりすることができるため、多様な場面での活用が期待されています。 |
| 2 | | ChatGPTの回答は正しいですか？ | ChatGPTは、ウェブ上の大量のテキストデータ（ウェブ上の文章や書籍、ニュース記事、SNSの投稿など）から機械学習して、そのデータに基づいて回答を生成しますが、誤りや不正確な情報を提供することがあります。このため、回答に正確な情報ではない場合があることを認識して利用する必要があります。 |
| 3 | | ChatGPTの入力情報は残りますか？ | ChatGPTにユーザーが入力した情報は機械学習されます。ChatGPTの環境設定で入力情報の学習を無効化することができます。 |
| 4 | 市の利用 | ChatGPTをどのような業務で利用しますか？ | ChatGPTは、情報収集・分析、文書作成の支援（仕様書(フレーム)の作成など）、政策提案のサポート（アイデア出しなど）といった公開情報を扱う行政事務で利用します。 |
| 5 | | ChatGPTの利用ルールはありますか？ | ChatGPTの利用では、市で制定した以下のルールを遵守します。 <ul style="list-style-type: none">• ChatGPTには機密情報、個人情報、プライバシー情報は入力しないこと。• ChatGPTから個人情報、プライバシー情報を取得しないこと。• ChatGPTの結果（回答）は正確な情報ではない場合があることを認識し、また結果（回答）の理由や根拠を精査したうえで利用すること。• ChatGPTの利用の際に入力した情報をChatGPTに学習データとして使用させない（蓄積させない）設定としておくこと。 |